

新ひだか町第2次総合計画に基づくまちづくりの進捗状況（前期：H30～R3までの評価）

★まちづくりの将来像『みんなでつくる希望にあふれるまち』★

◎まちづくりの主要指標

①総人口	
H28	目標値（R9）
23,052人	19,000人以上

②合計特殊出生率	
H28	目標値（R9）
1.62	1.60以上

③生産年齢人口比率	
H28	目標値（R9）
57.0%	50.0%以上

単位：人

【達成状況】 ※各年度末における状況

単位：人

区分	H30	R1	R2	R3
0歳～4歳	798	744	663	608
5歳～9歳	886	865	868	818
10歳～14歳	878	868	864	850
幼少人口計：ア	2,562	2,477	2,395	2,276
★下段：合計特殊出生率	1.62	1.62	1.73	1.73
15歳～19歳	915	862	817	793
20歳～29歳	1,627	1,641	1,592	1,559
30歳～39歳	2,329	2,219	2,121	2,003
40歳～49歳	2,924	2,860	2,785	2,753
50歳～59歳	2,872	2,896	2,857	2,814
60歳～64歳	1,458	1,379	1,340	1,383
生産年齢人口計：イ	12,125	11,857	11,512	11,305
★下段：生産年齢人口比率	54.3%	54.1%	53.6%	53.7%
65歳～69歳	1,886	1,797	1,678	1,572
70歳～79歳	3,149	3,197	3,227	3,250
80歳～89歳	2,073	2,072	2,096	2,095
90歳以上	528	533	561	573
高齢人口計：ウ	7,636	7,599	7,562	7,490
総人口：ア+イ+ウ	22,323	21,933	21,469	21,071

※住民基本台帳（住民記録年齢別人口集計表）より

【参考情報】

区分	前期4年間の合計増減数	直近の増減 R3-R2	R9：単純推計【R3+（R3-R2）×6年】
0歳～4歳	-190	-55	278
5歳～9歳	-68	-50	518
10歳～14歳	-28	-14	766
幼少人口計：ア	-286	-119	1,562
15歳～19歳	-122	-24	649
20歳～29歳	-68	-33	1,361
30歳～39歳	-326	-118	1,295
40歳～49歳	-171	-32	2,561
50歳～59歳	-58	-43	2,556
60歳～64歳	-75	43	1,641
生産年齢人口計：イ	-820	-207	10,063
★下段：生産年齢人口比率	—	—	53.9%
65歳～69歳	-314	-106	936
70歳～79歳	101	23	3,388
80歳～89歳	22	-1	2,089
90歳以上	45	12	645
高齢人口計：ウ	-146	-72	7,058
総人口：ア+イ+ウ	-1,252	-398	18,683

※直近の増減数（R2とR3の差）をベースに6年後を展望

【前期における評価】

「①総人口」は着実に減っており、今のペースでは目標を達成できない可能性が高い。特に、出生数の低下（H30：127人、R1：127人、R2：115人、R3：109人）が深刻であり、ここを改善できなければ、「②合計特殊出生率」についても目標の達成が難しくなる。出生数を増やすための特効薬はないが、子育て世帯が抱える課題などにしっかりと向き合いながら、子育てしやすい町づくりを丁寧かつ着実に進めていけば、出生数の増加や子育て世帯に選ばれる町に繋がっていくと考える。よって、既存施策の成果や妥当性などを点検しつつ、今まで以上に子育て支援策を強化・充実させていく必要がある。「③生産年齢人口比率」は何とか目標を達成できる見通しであるが、状況が悪化する可能性もあるため楽観視できない。移住の促進や若者の町外流出の防止など、生産年齢人口の獲得に関する施策を継続・強化していく必要がある。

基本目標 1：誰もが参加できるまちづくり

第1：町民主体によるまちづくりの推進

①町公式SNSフォロワー数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
累計4,300人	累計10,000人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
6,312人	6,907人	7,214人	7,465人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎情報発信に係る頻度や質の向上（役場内各部署へのSNSアカウントの付与及び積極的な投稿に向けた継続的な呼びかけ）

【前期における評価】

※町公式Facebook及びTwitterのフォロワー数の合算値

ここ数年、役場内における情報発信意識の改革に取り組んできた結果、情報発信の頻度や質は着実に向上しており、これと連動する形でSNSフォロワー数も順調に増えている。このペースで推移すれば、目標は達成できると考えるが、努力を怠ればフォロワー離れを招くことから、引き続き職場内の啓発に取り組むとともに、新たな発信ツールの活用も検討していきたい。

②まちづくり懇談会への参加者数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間267人	年間400人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
271人	313人	0人	0人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎町広報やホームページ、SNS等を通じた行政情報の積極的な発信及び広聴制度の利用促進に向けた周知

③まちづくり出前講座の開催回数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間83回	年間125回

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
59回	61回	24回	25回

【前期における評価】

まちづくり懇談会や出前講座などの直接対話の機会は、新型コロナウイルス感染症の影響により思うように作れない状況が続いている。感染拡大の終息が見えない現状では正常な評価が難しいが、このままでは目標達成は容易ではないと思われる。平時に戻り次第、積極的に対話機会を作っていきたいと考えているが、自治会を中心とする従来型の対話機会では、次代を担う若い世代が活発に関わる状況は期待できないことから、町民と行政との新たな対話スタイルの構築についても検討・研究を進めたい。

第2：活力ある地域づくりの推進

①馬文化の伝承事業への参加者数 → 馬文化の伝承事業を実施する小中学校数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間63名	年間180名
↓	↓
町内小中学校での事業実績なし	町内の全小中学校での継続した事業実施

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
全9校中 3校で実施	全9校中 6校で実施	全9校中 3校で実施	全9校中 4校で実施

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎子ども達を対象とした馬文化伝承事業の継続的な実施
◎小中学校への継続的な参画呼びかけ

※目標値変更（R3で年間941人が事業に参加しており、当初目標値を大きく上回る成果を上げていることから、今後は事業に参画する学校数を増やすことを目標とする。）

【前期における評価】

平成29年度から実施している「ひだかうまキッズ探検隊」事業を軸に、馬関係者や学校関係者との良好な協力関係が醸成されており、これらの方々と効果的に連携する中で、主に町内の子ども達を対象に、馬産地ならではの学びの機会を数多く作ることができている。事業への参加数としては目標を大きく上回る成果を上げているため、**目標値 (R9) を「町内の全小中学校での継続した事業実施」に変更し、更なる取組の充実・拡大を図っていく。**

②ちょっと暮らし体験からの移住世帯数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
累計12世帯	累計36世帯

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
累計18世帯	累計24世帯	累計28世帯	累計35世帯

(参考) 各年度ちょっと暮らし体験住宅利用世帯数

58世帯	47世帯	29世帯	21世帯
------	------	------	------

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎各種移住相談会の実施
- ◎インターネットを活用した積極的な情報発信と移住相談体制の強化

【前期における評価】

町内10カ所の体験住宅を活用した「ちょっと暮らし体験事業」を軸に、各種移住相談や情報発信などに精力的に取り組んできた結果、目標達成に向けて順調に推移している。最近では、現役世代の移住志向の高まりも見受けられることから、新型コロナウイルス感染症が終息した際には、オンラインでのセミナーや移住相談に加え、道外で開催される移住相談会などに積極的に参加し、対面によるPR機会を増やしていきたい。

③企業立地促進条例による支援件数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
累計3社	累計6社

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
0	0	0	0

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎町広報誌やホームページでの周知

【前期における評価】

ピュアプラザへ内の空きスペースや、廃校舎の利活用事業所の募集活動等に取り組みながら、興味を示す事業者からの相談を受けており、既に目標値の半分相当に当たる3社からの相談を受けている。今後においても事業者に興味を持ってもらえるような情報発信などに努めながら、相談件数を増加させ、企業立地の実績を1社でも多く積み上げていく。

※R3年度中に事業開始が1件→R4年度中に支援(交付金交付)予定

④審議会等への女性登用率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
19.6%	30.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
19.0%	22.0%	22.1%	23.6%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎町広報紙、SNSなどを活用した継続的な啓発活動
- ◎役場内部における女性登用への呼びかけ

【前期における評価】

※女性登用率調査(広域以外の審議会・委員会の合計)から算出

役場内部における継続的な啓発活動や定期的な実績調査などにより、女性登用率は着実に上昇しており、現行のペース(4年間で4.6%増)が維持できれば目標は達成できると考える。しかしながら、公募委員制度などを活用して参画を呼び掛けても、現実には女性からの応募が少ない状況にもあることから、女性の社会進出に関する情報発信や各種啓発活動などに努めながら、女性が参画しやすい環境やスタイルの構築にも努めていきたい。

⑤姉妹都市等との交流参加者数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
累計4,555人	累計7,000人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
累計4,862人	累計4,901人	累計4,901人	累計4,901人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎学校との連携による制度周知
- ◎SNSなどを活用した積極的な情報発信

【前期における評価】

※国内外の姉妹都市等への派遣・受入事業への参加人数の合計

レキシントン市との青少年相互派遣交流事業の実施やスポーツ少年団事業への支援などにより、姉妹都市や友好市町からの受入・派遣交流に継続的に取り組んでいるが、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できない状況が続いている。感染拡大の終息時期が見えない現状では正常な評価が難しい状況にあるが、目標達成は容易ではないと思われる。平時に戻り次第、各種交流事業を再開するとともに、新たにレキシントン市への短期留学事業をスタートさせられるよう準備を進めていくが、今後の情勢によっては、目標値の見直しを検討しなければならないと考える。また、青少年以外の交流機会が少ないことから、大人同士の交流という視点からも研究・検討を進めていきたい。

基本目標 2：快適で、安全・安心な生活環境づくり

第 1：自然環境の保全と活用

①無立木地の解消

【目標値】

H28	目標値 (R9)
409ha	368ha

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
400.42ha	376.81ha	369.54ha	385.88ha

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎森林環境保全整備事業（私有林の森林環境を保全するための新植・保育等）

【前期における評価】

無立木地の解消については、森林環境保全整備事業や豊かな森づくり推進事業などの補助事業を活用するほか、森林環境譲与税活用事業により目標達成に向けて順調に推移している。今後も森林の公益的機能の維持・推進のため、適切な森林環境の保全に努めていく。

第 2：都市基盤の整備

①都市道路整備率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
58.0%	59.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
58.0%	59.0%	59.0%	59.0%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎道路網の整備（町道整備、橋梁整備、舗装改修など）

【前期における評価】

都市道路整備率については、計画的に整備を進め、目標値を達成しているが、高規格道路日高自動車道静内ICの供用開始後に、市街地内の交通量増加が想定されているため、その状況を踏まえた新たな目標値を定める必要があるが、現状においては、交差点の渋滞緩和対策を講じるなど、交通安全対策に努めていく。

②生活道路舗装率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
74.2%	75.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
74.3%	74.3%	74.2%	74.2%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎道路網の整備（町道整備、橋梁整備、舗装改修など）

【前期における評価】

生活道路舗装率については、舗装新設延長が町道の新規路線の認定延長を上回らないため、舗装率は伸びていないが、今後路線認定数が抑えられる見込みであるため、R9までの目標値達成を目指す。

③橋梁修繕数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
累計7橋	累計32橋

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
累計8橋	累計9橋	累計9橋	累計9橋

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎道路網の整備（町道整備、橋梁整備、舗装改修など）

【前期における評価】

橋梁修繕については、財源などの課題も多く、長寿命化計画どおりには事業を実施できていない。このペースでは目標達成は極めて厳しい見通しであるが、国が強化を図っている事業でもあるため、有利な財源等を確保しながら、R9までの目標値達成に向けて事業を推進していく。

④上水道施設の耐震化率 → 水道施設の耐震化率

⑤簡易水道施設の耐震化率 ※項目削除（上記④に統合）

【目標値】

H28	目標値（R9）
上水 14.3%	上水 100.0%
簡水 75.0%	簡水 100.0%
→36.4%	→63.6%

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
45.5%	45.5%	45.5%	54.5%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎上水道施設及び簡易水道施設の更新（耐震化）

※目標値変更（令和9年度までに耐震化を計画している割合に変更）

※従来までは上水道と簡易水道を分けて整理していたが、事業を統合したため、目標値も統合する。

【前期における評価】

水道施設の耐震化率については、着実に上昇している。引き続き目標値達成に向け事業を推進していく。

⑤下水道水洗化率

【目標値】

H28	目標値（R9）
84.4%	90.0%

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
85.9%	86.6%	86.7%	87.4%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎下水道の整備（汚水管渠の整備、水洗便所改造等資金助成など）

※④と⑤を統合したため、項目番号を⑤に繰上げ

【前期における評価】

下水道水洗化率については、地道な普及活動の効果もあり、目標達成に向けて順調に推移している。引き続き関係する世帯等への呼びかけに努めたい。

第3：生活環境の整備

①公園・緑地整備面積

【目標値】

H28	目標値（R9）
82.8ha	85.6ha

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
84.6ha	84.6ha	84.6ha	84.6ha

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎公園・緑地の整備

【前期における評価】

公園・緑地整備面積については、目標達成に向けて順調に推移しているが、今後の事業計画が固まっていないことから、財源の確保を含め、早期に見通しを立てていく。

②ごみ搬入量

【目標値】

H28	目標値（R9）
年間7,408.93 t	年間7,098.98 t
↓	↓
1人1日当たり903g	1人1日当たり881g

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
1人1日当たり948g	1人1日当たり971g	1人1日当たり958g	1人1日当たり968g

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎リサイクル活動事業（リサイクル活動奨励金）

※目標値変更（令和4年3月に策定された一般廃棄物処理基本計画と整合性を持たせるため、年間搬入量から1人1日当たりの搬入量に変更）

【前期における評価】

ごみ搬入量については、人口減少に伴い減少傾向にあるが、1人1日当たりの搬入量は増加しており、このペースでは目標値の達成が困難な状況にある。目標値の達成に向けて分別収集の徹底とごみの減量化やリサイクル化に関する啓発活動を継続・強化するとともに、先進自治体などの事例を参考にしながら、より効果的な対応策について研究・検討していきたい。

③救急救命士数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
18名	21名→25名

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
20名	20名	23名	23名

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎計画的な職員採用

※目標値変更（目標値を達成しており、更なる充実・拡大を図るため変更）

【前期における評価】

救急救命士数については、積極的に救急救命士を採用しているため目標値を達成しているが、近年は救急出動件数が増加傾向にあり、救急現場では質の高い高度な救急救命処置が求められていることから、高度な救急救命処置、救命率向上のため、救急救命処置の専門知識と資格を有する救急救命士の継続的な人材確保は必要と思われる。また、職員の定年延長により職員採用計画が見直され、救急救命士の採用が遅れる可能性もあること。さらに、現職の救急救命士が管理職となり、消防全体の管理をする立場になることで、救急現場のみの対応が困難になることも想定されることから、「**目標値(R9)を25名**」に変更し、更なる充実、拡大を図る。

④住宅火災警報器設置率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
80.0%	90.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
75.4%	82.1%	82.1%	82.1%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎警報器の設置促進に向けた啓発活動

【前期における評価】

R2.R3は新型コロナウイルス感染拡大防止のため設置率調査未実施。R2.R3はR1と同数とする。

住宅用火災警報器設置率については、新型コロナウイルス感染症の影響により事業及び設置率調査が実施できない時期が続いたこともあり、このままでは目標値の達成が難しい状況にある。感染拡大の終息を見極めながら、今まで以上に火災予防運動や市街地査察で設置普及活動を強化する。

⑤消防団員数（うち女性団員数）

【目標値】

H28	目標値 (R9)
263名 (10名)	270名 (20名) ↓ 213名 (15名)

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
250名(17名)	244名(17名)	238名(16名)	233名(15名)

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎団員獲得に向けた啓発活動

※目標値変更（人口減が続く中で、人口の推移に基づいた団員数になるよう変更）

【前期における評価】

消防団員数については、過疎化・少子高齢化によりその確保が困難になっている中で、新規入団者も減少傾向にあることから、消防団員の目標値について、新ひだか町の人口推移に基づき設定し、目標値を維持できるよう消防活動の重要性や魅力などを広く知ってもらえるような啓発活動に取り組むとともに、併せて女性が参画しやすい環境や仕組みづくりについても研究・検討していく。

⑥自主防災組織率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
53.0%	80.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
54.2%	60.2%	60.2%	60.2%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎自主防災組織の設立・促進事業（設立に向けた働きかけ、助言、防災資機材購入に対する助成金交付）

【前期における評価】

自主防災組織率については、新規に9団体で組織率7.2ポイントの増となったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、自治会との接点である防災講話等の出前講座の開催が低調となったため、自主防災組織の推進が困難な状況であった。目標を達成するには厳しい現状にあるが、今後も様々な機会を捉えて組織率の向上に努めていく。

⑦交通事故発生件数

【目標値】

H28	目標値（R9）
年間27件	前年実績以下

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
年間24件	年間27件	年間18件	年間25件

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎交通安全や防犯の推進に向けた継続的な啓発活動

【前期における評価】

交通事故発生件数については、全体的に減少傾向にあるが、気の緩みが事故に繋がる危険性を秘めているため、引き続き、関係機関・団体と連携しながら、継続的に交通安全に対する意識高揚のための啓発活動に努める。

⑧犯罪発生件数

【目標値】

H28	目標値（R9）
年間99件	前年実績以下

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
年間113件	年間82件	年間73件	年間51件

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎交通安全や防犯の推進に向けた継続的な啓発活動

【前期における評価】

犯罪発生件数については、全体的に減少傾向にあるが、社会全体の情勢によって左右される要素が大きく、常に犯罪発生の危険性を秘めているため、引き続き、関係機関・団体と連携しながら、継続的に防犯に対する意識高揚のための啓発活動に努める。

（参考）犯罪の内訳

	H28
窃盗	66件
粗暴犯	4件
知能犯	2件
凶悪犯	1件
その他	26件

H30	R1	R2	R3
53件	38件	35件	26件
23件	14件	18件	10件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	1件	2件
37件	29件	19件	13件

基本目標3：健康で、生きがいのある暮らしづくり

第1：保健・医療の充実

①がん検診受診率（胃がん）

【目標値】

H28 → H30	目標値（R9）
26.5%→7.3%	全道平均値到達
(道：35.0%→6.8%)	→6.1%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
7.3%	5.3%	3.4%	4.1%
(道：6.8%)	(道：6.1%)	(道：6.1%)	

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎休日の集団検診の開催
- ◎検診開始世代への積極的な勧奨
- ◎検診開始世代となる40歳の検診費用を無料にする
- ◎検診環境整備（町内、町外医療機関との連携強化）

②がん検診受診率（肺がん）

【目標値】

H28 → H30	目標値（R9）
17.2%→6.7%	全道平均値到達
(道：36.4%→4.5%)	→5.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
6.7%	4.3%	3.7%	4.5%
(道：4.5%)	(道：4.5%)	(道：4.5%)	

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎休日の集団検診の開催
- ◎検診開始世代への積極的な勧奨
- ◎検診開始世代となる40歳の検診費用を無料にする
- ◎検診環境整備（町内、町外医療機関との連携強化）

③がん検診受診率（大腸がん）

【目標値】

H28 → H30	目標値（R9）
19.1%→6.0%	全道平均値到達
(道：34.1%→5.7%)	→5.4%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
6.0%	6.3%	4.5%	4.4%
(道：5.7%)	(道：5.1%)	(道：5.4%)	

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎休日の集団検診の開催
- ◎検診開始世代への積極的な勧奨
- ◎検診開始世代となる40歳の検診費用を無料にする
- ◎検診環境整備（町内、町外医療機関との連携強化）

④がん検診受診率（子宮がん）

【目標値】

H28 → H30	目標値（R9）
38.0%→12.4%	43.0%→16.5%
(道：30.5%→16.6%)	

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
12.4%	10.9%	6.0%	10.2%
(道：16.6%)	(道：16.5%)	(道：16.5%)	

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎休日の集団検診の開催
- ◎検診開始世代への積極的な勧奨
- ◎検診開始世代となる40歳の検診費用を無料にする
- ◎検診環境整備（町内、町外医療機関との連携強化）

⑤がん検診受診率（乳がん）

【目標値】

H28 → H30	目標値（R9）
40.4%→16.1%	45.4%→14.7%
(道：31.2%→15.1%)	

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
16.1%	14.7%	5.0%	14.1%
(道：15.1%)	(道：14.7%)	(道：14.7%)	

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎休日の集団検診の開催
- ◎検診開始世代への積極的な勧奨
- ◎検診開始世代となる40歳の検診費用を無料にする
- ◎検診環境整備（町内、町外医療機関との連携強化）

※現状値・目標値変更（平成30年度に国の指針により、がん検診受診率の算出基準に変更があったため、変更後の基準による数値とする。また、新型コロナ等による落ち込みがあるため、R9までにR2の全道平均値まで回復させることを目標とするよう変更。ただし、肺がんについては道平均を上回る回復をしているため、道平均を上回る目標値を設定する。）

【前期における評価】 ※①から⑤までの総括

がん検診受診率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う各種集団検診の中止や、個別医療機関で行う検診受入れの中断などの影響により、各種目ともに急落している状況にある。今後は、コロナ禍でも感染症対策に配慮した検診体制を整備することにより、安心して受診できる体制整備の徹底、がん検診を受けることのメリットについて周知を図り、受診率増加を図る。

⑥特定健診受診率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
19.5%	35.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
18.6%	17.2%	15.5%	18.5%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎未受診者対策（勧奨通知、電話勧奨など）
- ◎診療情報提供事業（医療機関の協力を得た定期通院者の検査結果データ受領）

【前期における評価】

特定健診受診率については、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや集団検診の一部中止等で低下しており、目標値の達成は容易ではないが、未受診者への効果的な受診勧奨や医療機関の協力を得た定期通院者の診療情報提供事業（検査結果データ受領）を進めていく。

⑦外来患者数（静内・三石合計）

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間62,183人	年間67,500人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
58,917人	57,572人	53,496人	53,201人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎新ひだか町立病院事業経営コンサルティング業務
- ◎経営・財務マネジメント強化事業

【前期における評価】

外来患者数については、新型コロナウイルス感染症や町立静内病院における内科医師退職の影響により目標値を下回っており、今後も新たな医師確保や患者満足度を高める取組を行い、目標値の達成を図る。

⑧病床利用率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
65.7%	75.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
57.3%	55.9%	46.4%	44.9%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎在宅医療・介護連携推進事業

【前期における評価】

病床利用率については、令和2年度より看護職員不足から三石国保病院の一般病床20床を休床とした影響により目標値を大きく下回っており、今後は人口推移や患者動態を見極めた中で、適正な病床数や病床機能の転換を行うことで目標値の達成を図る。

第2：社会福祉の充実

①保育利用率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
32.0%	38.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
32.8%	36.7%	34.4%	36.5%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎保育士不足の問題解消に向け保育士等の修学資金貸付制度を導入。
- ◎待機児童対策として公立保育所における一時預かり事業の利用対象年齢の引き下げを実施。

【前期における評価】

保育利用率については、就学前児童数が減少傾向にあるものの、3歳未満における保育施設の利用希望は増加傾向にあり、このまま現在の利用定員数を維持できれば目標値は達成できると思われるが、保育士不足や施設の狭隘化等の問題を抱えている施設もあることから受け皿確保の取り組みが重要となる。

②介護予防の拠点数

※介護予防の拠点：地域で介護予防事業を実施する団体等（自治会や事業所など団体の形態は問わない）をいいます。

【目標値】**【達成状況】** ※各年度末における状況**【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】**

H28	目標値（R9）
16カ所	50カ所

H30	R1	R2	R3
14カ所	18カ所	19カ所	23カ所

◎介護予防サポーター養成講座の実施等により新たな団体の創出や既存団体の活性化を図った。

【前期における評価】

介護予防の拠点数については、新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止がみられる中、介護予防サポーター養成講座の実施等により新たな団体の創出や既存団体の活性化が図られた。今後も感染対策に配慮した活動を継続できるよう、地域の中で介護予防に取り組める環境づくりを推進する。

③地域生活支援拠点の整備**【目標値】****【達成状況】** ※各年度末における状況**【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】**

H28	目標値（R9）
0カ所	1ヶ所

H30	R1	R2	R3
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所

◎新ひだか町障がい者自立支援協議会での協議。日高圏域障がい者総合相談支援センターとの情報交換会議。

【前期における評価】

地域生活支援拠点の整備については、現在は0カ所だが、障がい福祉計画の中でも目標を設定し、令和5年度までに設置についての検討をすすめる。

④精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築**【目標値】****【達成状況】** ※各年度末における状況**【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】**

H28	目標値（R9）
0カ所	1ヶ所

H30	R1	R2	R3
0カ所	0カ所	0カ所	0カ所

◎日高圏域地域生活移行支援協議会への参画。

【前期における評価】

精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築については、現在は構築できていないが、新ひだか町障がい者自立支援協議会を活用し事例検討等を行いながら、支援体制の整備を検討していく。

基本目標4：地域資源を活かした安定的な経済基盤づくり

第1：産業の振興

①担い手農家数（新規就農者）

【目標値】

H28	目標値（R9）
累計11組15人	累計53組77人

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
累計18組27人	累計22組37人	累計23組39人	累計25組42人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎農業後継者育成推進事業（新規就農に係る研修費及び研修生募集活動経費等への補助など）

【前期における評価】

担い手農家数（新規就農者）については着実に増加しているが、このペースでは目標値の達成は難しい。関係機関等と連携しながら新規就農希望者の確保に向けて、オンライン相談会の開催や町HP（SNSも含む）による情報発信の強化を図り、募集活動を充実していくほか、研修中及び経営開始後の支援活動の強化に努めていく。

②林道、作業道の管理 → 林道、作業道の整備

※目標項目修正（現状値及び目標値が整備延長であるにもかかわらず目標項目が管理となっていたため）

【目標値】

H28	目標値（R9）
90,434m	100,000m

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
95,686m	95,781m	96,801m	97,428m

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎森林環境保全整備事業（林道の開設及び改良整備、林業専用道整備など）

【前期における評価】

林道、作業道については、順調に整備が進んでいるため目標値を達成できる見込みではあるが、今後も林道網の適切な維持管理および広域的森林管理の推進に努めていく。

③漁業生産額

【目標値】

H28	目標値（R9）
2,062百万円	現状からの向上

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
1,945百万円	1,682百万円	1,504百万円	1,085百万円

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎沿岸漁業資源増大促進事業（水産種苗生産及び放流事業に対する助成など）

【前期における評価】

漁業生産額については、新型コロナウイルス感染症の影響による消費の低迷や魚価の下落、更には赤潮被害による水産資源の減耗などにより目標値には至っていないものの、引き続き、沿岸漁業資源の維持・回復のため、種苗放流など栽培漁業の推進に努めていく。

④商工業事業所数（商工会会員数）

【目標値】

H28	目標値（R9）
654社	現状維持

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
637社	635社	655社	660社

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎商工会において、経営相談、指導等をはじめ、各種事業に取り組み、また、ホームページやイベント等において会員の獲得に努めている。

【前期における評価】

商工業事業所数（商工会会員数）については、目標値を達成しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が今後出てくる可能性もあることから、引き続き商工会と連携して情報発信などに努めていきたい。

⑤創業に係る相談件数 → 相談支援に基づく創業件数

※目標項目修正（現状値及び目標値が創業件数であるにもかかわらず目標項目が相談件数となっていたため）

【目標値】		【達成状況】 ※各年度末における状況				【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】
H28	目標値（R9）	H30	R1	R2	R3	◎町では、ワンストップ相談窓口を設置し、商工会においては、相談窓口及び創業に関するセミナーである「創業塾」を年4回開催している。
0件	年間2→7件	年間4件	年間7件	年間7件	年間7件	

※目標値変更（令和元年以降毎年7件と当初目標を上回る成果が出ているため、目標値を近年の実績件数を維持するように変更）

【前期における評価】
 創業件数については、町と商工会でH29に創業支援事業計画を策定し、創業に関する支援を行っており、順調に成果が出ているので、引き続き情報発信などに努めていきたい。

⑥雇用促進助成金等による中小企業者の若年新規雇用数

【目標値】		【達成状況】 ※各年度末における状況				【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】
H28	目標値（R9）	H30	R1	R2	R3	◎若年者等雇用促進助成事業（新たに若年者等を雇用した中小企業者に対する助成など）
年間9名	年間10名	年間10名	年間10名	年間4名	年間2名	

【前期における評価】
 雇用促進助成金等による中小企業者の若年新規雇用数については、例年と比べ減少していることから、今後はSNS等も活用した周知やPRを行い若年新規雇用数の増加に繋げていきたい。

⑦商業販売額

※項目削除（統計調査による商業販売額の把握ができなくなったため）

第2：観光の振興

①観光総入込客数

【目標値】		【達成状況】 ※各年度末における状況				【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】
H28	目標値（R9）	H30	R1	R2	R3	◎各種イベント開催事業（桜まつり、夏まつり、蓬莱山まつりなどの開催） ◎観光PR事業（観光パンフの作成、各種広告掲載、各種PRイベントへの参加など）
年間764,760人	年間800,000人	年間562,736人	年間709,785人	年間413,902人	年間505,458人	

【前期における評価】
 観光総入込客数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町内のイベントが軒並み中止となったほか、観光施設などの利用者も減少したため、目標値の達成は容易ではないが、コロナが終息した段階ですぐに動き出せるよう、引き続き体制整備や情報発信などに努めていきたい。

②外国人宿泊者数

【目標値】		【達成状況】 ※各年度末における状況				【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】
H28	目標値（R9）	H30	R1	R2	R3	◎各種イベント開催事業（桜まつり、夏まつり、蓬莱山まつりなどの開催） ◎観光PR事業（観光パンフの作成、各種広告掲載、各種PRイベントへの参加など）
年間1,092人	年間2,000人	年間980人	年間595人	年間14人	年間24人	

【前期における評価】
 外国人宿泊者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により激減しているため、このままでは目標値の達成は容易ではないが、コロナが終息した段階ですぐに動き出せるよう、引き続き体制整備や情報発信などに努めていきたい。

③道の駅入込客数

【目標値】

H28 → R1	目標値 (R9)
年間49,813人	年間60,000人
↓	↓
年間155,415人	年間180,000人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
-	年間155,415人	年間128,998人	年間156,902人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎各種イベント開催事業（桜まつり、夏まつり、蓬萊山まつりなどの開催）
- ◎観光PR事業（観光パンフの作成、各種広告掲載、各種PRイベントへの参加など）

※目標値変更（レストランと特産品販売センターの客数集計から、道の駅トイレ側の自動ドアの開閉カウンターによる集計に変更）

【前期における評価】

道の駅入込客数については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているため、目標値の達成は容易ではないが、コロナが終息した段階ですぐに動き出せるよう、引き続き体制整備や情報発信などに努めていきたい。

第3：新ひだかブランドの確立

①新ひだか推奨品

【目標値】

H28	目標値 (R9)
54品	60品

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
68品	68品	66品	67品

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎新ひだか町ドリカム推進事業（特産品開発等に係る補助など）
- ◎新ひだか推奨品認定事業（優良な特産品を町の推奨品として認定し、積極的にPR）

【前期における評価】

新ひだか推奨品については、観光協会や商工会とも連携し、周知、PRを実施しており、年平均4商品の認証をしている。今後も当町の優れた特産品を町内外へ広くPRしていく。

基本目標5：町の将来を支える心豊かな人づくり

第1：教育、芸術・文化、スポーツの充実

①全国学力・学習状況調査結果

【目標値】

H28	目標値（R9）
全道平均値未到達	全道平均値到達

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
全道平均値未到達	全道平均値未到達	調査中止	全道平均値未到達

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎GIGAスクール構想推進事業（ICT環境の整備による新たな学習環境の構築など）
- ◎補充的学習事業（放課後学習サポート、公設学習塾の開設など）

【前期における評価】

全国学力・学習状況調査結果については、中学校において全道平均と比較して「ほぼ同様」や「同様」となった年度もあったが、令和3年度調査においては小学校も含めてすべての領域で平均値より「低い」・「相当低い」という大変厳しい状況である。学習指導要領の目指す資質・能力の育成を目指した授業改善（ICTの活用を含む）に加えて、家庭での基本的な生活習慣の確立と、家庭学習の習慣化をより一層進める必要がある。

②全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

【目標値】

H28	目標値（R9）
全道平均値未到達	全道平均値到達

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
全道平均値未到達	全道平均値未到達	調査中止	全道平均値未到達

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎スポーツ教室開催事業（幅広い年代に対する健康・体力づくり機会の提供など）
- ◎体力向上活動サポーター派遣事業（授業や専門種目の指導への人材派遣など）

【前期における評価】

全国体力・運動能力、運動習慣等調査については、令和3年度調査において中学校2年生女子がすべての領域において全道平均を上回ったが、全体としては平均値に到達していない。各校の実態に合わせて、一校一実践とした取組を保健体育の授業において継続的に行うとともに、日常の教育活動でも積極的に運動を取り入れるなど、体を動かすことの習慣化を進める必要がある。

③学校給食の地元食材使用率 → 学校給食の地元食材使用

【目標値】

H28	目標値（R9）
12.18%→27.2%	30.0%

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
28.5%	27.9%	29.0%	29.4%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎学校給食への地元食材の積極的活用

※現状値変更（算出基準が明確にならなかったため、地元食材を使用したメニュー数の割合で整理）

【前期における評価】

学校給食の地元食材使用率については、その年の気候等で食材を使用するのが難しい場合もあるが、目標を達成するため、今後も納入業者には地元産の食材を積極的に納入するよう要請をしていく。

④人口一人当たりの図書貸出冊数

【目標値】

H28	目標値（R9）
年間6冊	年間9冊

【達成状況】

※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
年間6.4冊	年間5.8冊	年間5.3冊	年間5.1冊

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎読書活動推進事業（企画展示、朗読会、映画会、ぬいぐるみおとまり会等）
- ◎ブックスタート事業 ◎学校連携事業

【前期における評価】

資料費の圧縮や、感染症の影響による臨時休館及び事業実施の中止など、マイナス要因が重なり、貸出冊数をはじめとして、入館者数等あらゆる利用統計数値が毎年減少傾向にある。感染症も終息を見ず、今後の社会動向の予測がつかない状況にはあるが、新たなサービスの導入やSNS等を活用した広報活動の充実等、できることを着実にやり、利用の活性化につなげたい。

⑤図書館利用登録人数の人口比率

【目標値】

H28	目標値 (R9)
47.0%	60.0%

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
45.17%	48.17%	50.99%	53.58%

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎読書活動推進事業（企画展示、朗読会、映画会、ぬいぐるみおとまり会など）
- ◎ブックスタート事業 ◎学校連携事業

【前期における評価】

令和4年4月に登録者データを精査し、5年以上利用実績が無い等、有効ではない登録者データを削除した結果、利用登録人数の人口比率は40%台となることが判明した。要因として、図書館の利用そのものが減少傾向にあることに加え、感染症の影響による臨時休館や夜間開館の停止、外出控え等が考えられる。感染症の影響も未だ続いているが、広報活動の充実や、魅力的な事業の実施、学校連携の強化など、新規利用者獲得に向け継続して取り組みたい。

⑥スポーツ施設利用者数 → 人口一人当たりのスポーツ施設利用回数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間155,216人 →年間6.96回	現状維持 (年間6.96回)

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
年間6.70回	年間6.18回	年間4.48回	年間5.37回

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎スポーツ教室開催事業（幅広い年代に対する健康・体力づくり機会の提供など）

※目標値変更（急激な人口減少を踏まえ、利用者数から利用回数に目標値を変更）

【前期における評価】

スポーツ施設利用者については年々減少傾向にあるが、人口比では現状を維持している。令和2年3月から新型コロナウイルスによる度重なる休館で利用者は激減した。今後は幅広い年代を対象とした教室や大会の企画、スポーツ合宿や大会誘致を積極的に行い利用回数の増加につなげる。

⑦ライディングヒルズ静内利用者数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間8,606人	年間10,000人

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R 1	R 2	R 3
7,425人	7,344人	5,536人	5,092人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

- ◎新規教室の企画・開催
 - ・町民厩務作業及び馬の手入れ体験教室、町民子ども厩舎作業及び馬の手入れ体験教室、レディース乗馬体験教室
- ◎乗馬大会等の開催による利用者の交流及び乗馬技術向上の促進
 - ・町民乗馬大会、初乗り会
- ◎一般社団法人umanowa（うまのわ）との連携による小中学校の利用
 - ・静内小学校、高静小学校、山手小学校
- ◎民間講師を活用した乗馬講習会開催により乗馬普及事業の促進（年3回開催）
- ◎SNSを活用し、施設や馬の情報発信
- ◎生涯学習人材バンク（ライディングヒルズサポーター）を活用したボランティア活動を開始

【前期における評価】

ライディングヒルズ静内利用者数については近年減少傾向にあったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休場や事業自粛などにより、それまでと比較して大きく減少したが、馬との触れ合いをととした学びの場として、各教育関係機関と連携した事業の拡大や新規主催事業の実施、SNSを活用した情報発信に取り組むなど、本施設の利活用に関する具体的な事業の充実に努めた。

⑧博物館入館者数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間12,114人	現状維持 (年間12,114人)

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
年間13,127人	年間10,396人	年間7,153人	年間7,088人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎教育普及事業（特別展、講座・講演会、団体見学の受入れなど）の積極的な実施
◎新型コロナウイルス感染症感染防止対策（接触型映像展示機器の非接触型化など）の実施

【前期における評価】

博物館入館者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しており、現状では正当な評価を下すことが難しい。現時点では、目標値の達成（年間1万2千人の入館）は容易ではないと考えるが、コロナが終息した段階ですぐに動き出せるよう、引き続き体制整備や情報発信などに努めていきたい。

⑨アイヌ民俗資料館入館者数

【目標値】

H28	目標値 (R9)
年間3,023人	現状維持 (年間3,023人)

【達成状況】 ※各年度末における状況

H30	R1	R2	R3
年間3,045人	年間3,567人	年間1,977人	年間1,646人

【目標達成のためにこれまで取り組んできた主な事業等】

◎アイヌ文化体験交流事業（伝統的サケ漁の儀式再現体験、アイヌ刺繍講座、アイヌ料理の調理実習など）の積極的な実施

【前期における評価】

アイヌ民俗資料館入館者数については、新型コロナウイルス感染症の影響で減っており、現状では正当な評価を下すことが難しい。現時点では、目標値の達成（年間3千人の入館）は容易ではないと考えるが、新型コロナウイルス感染症が終息した段階ですぐに動き出せるよう、引き続き体制整備や情報発信などに努めていきたい。

■その他修正事項

※主な体育施設の利用状況（基本計画P55）に関する修正

■主な体育施設の利用状況 ※修正前

施設名	2016 (H28)
静内体育館	33,148
山手体育館	27,282
静内武道館	6,599
静内温水プール	19,842
古川公園野球場	5,332
右岸テニスコート	4,184
右岸パークゴルフ場	26,325
右岸スケートリンク	4,732
左岸サッカー場	7,828
三石スポーツセンター	11,079
緑ヶ丘公園球場	2,614
ライディングヒルズ静内（騎乗者）	6,480

■主な体育施設の利用状況 ※修正後

施設名	2016 (H28)
静内体育館	33,148
山手体育館	27,282
静内武道館	6,599
静内温水プール	19,714 ※数値訂正（集計誤りによる）
古川公園野球場	5,332
右岸テニスコート	4,126 ※数値訂正（集計誤りによる）
右岸パークゴルフ場	26,325
右岸スケートリンク	4,732
左岸サッカー場	7,828
三石スポーツセンター	11,079
緑ヶ丘公園球場	2,532 ※数値訂正（集計誤りによる）
ライディングヒルズ静内（騎乗者）	6,480
その他体育施設	(※) ※情報追加（上記以外にも施設があるため）

（その他体育施設には以下の施設を集計しています）
 豊畑体育館、静内弓道場、静内洋弓場、延出体育館（H24,H25のみ）、三石テニスコート、三石旭ヶ丘運動広場、本桐スケートリンク、静内川右岸ゲートボール場、静内川左岸野球場、静内川左岸ソフトボール場、静内川左岸運動広場

（※）その他体育施設の追加内容は以下のとおり。

2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)
17,972	17,584	11,770	10,838	11,667

※H24,H25は三石スポーツセンターの代替として使用した延出体育館分をその他体育施設に集計